

shiga international movie festival

2018.11.23/24



滋賀国際映画祭

Coming Soon!

日時／2018年11月23・24日

場所／〈23日〉

13:00～16:30 大学サテライトプラザ(映画シンポジウム・公募作品と地域作品上映・映画ワークショップ)

18:00～21:30 東近江市SUBACO(映画大好き交流会 飲食付参加料1,000円 宿泊可5,000円、要予約)

〈24日〉

13:00～15:00 彦根ビバシティシネマ(入選作品上映会 入場料500円)

主催／滋賀国際映画祭実行委員会 後援／滋賀県 彦根市 東近江市 聖泉大学 彦根ビバシティシネマ

協賛／ 余呉高原リゾート YAP  SUNRISE  近江印刷株式会社 <http://www.omi-in.co.jp/> 近江や蔵 滋賀県社交飲食業生活衛生同業組合 公益財団法人 滋賀県生活衛生営業指導センター

問い合わせ／滋賀県彦根市肥田町720 (聖泉大学内) Tel:(0749)43-3600 URL:<https://www.shiga-imf.jp/>

滋賀国際映画祭は、学生のPBL学習の一環として実施されています。

滋賀国際映画祭 初の開幕



手作りで開催準備を進めている国際映画祭をPRする脇本准教授（中央）ら（彦根市で）

彦根で23、24日 聖泉大准教授ら準備

滋賀を映画で盛り上げようと、彦根市の聖泉大人間学部の脇本准教授らが23、24日に市内で初の「滋賀国際映画祭」を開く。国内外から集まった作品の中から選ばれたグランプリの発表や、県内で作られた地域映画の上映、映画制作のワークショップなどが予定され、映画を満喫できる2日間になりそうだ。

（森川明義）

映画祭は、琵琶湖や彦根城などに代表される自然、歴史資産に加え、映画を新たな人を呼び込む県の資源として活用しようという企画。県内は最近、「君の隣をたべたい」「関ヶ原」「トリガール！」など人気映画のロケ地になり、映画への関心が高まっている。脇本准教授らは今年1月、県内の映画愛好家や制作者らと実行委員会を設立。参加作品をホームページなどで募ったり、企業などに

入賞作発表や短編制作体験

資金協力を求めたりするなどの準備を進めてきた。

その結果、中国からの6本も含め計42本の短編作品の応募があった。脇本准教授は「初めての国際映画祭で心配だったが、多くの作品が集まりほっとした」と話す。

23日は大学サテライト・プラザ彦根（JR彦根駅前のアル・プラザ6階）で午後1時～4時半、県内の個人や自治体などが制作した地域映画を上映する。用意された作品の中から来場者のリクエストで上映を決める。また、5分程度の短編映画をその場で作るワークショップも開催。滋賀と映画をテーマにしたシンポジウムも開く。

24日は彦根ビバシティシネマで午後1時から、映画祭入賞作品の発表と上映が行われる。参加費は23日は無料、24日は500円。

脇本准教授は「映画祭を滋賀から監督や俳優、作品を輩出する登竜門にしていきたい」と意気込んでいる。

問い合わせは脇本准教授（0749・43・3600）。